第８回　高校第８回卒業　県陵三一会

■昭和61年４月17日　　記念式典：松本県ヶ丘高等学校体育館　祝賀会：松本東急イン

■記念講演

演題：国際交流と国際誤解

講師：法務省入国管理局

総括補佐官　　山崎　哲夫

■記念品贈呈

松本市民タイムス　昭和61年(1986年)　４月18日(金)〔８〕

図書券などを寄贈

県陵母校愛リレー

８回生が創立記念日に

松本県ケ丘高校を昭和三十一年に卒業した第八回生の集まり「三一会」（沢田吉雄代表幹事）は、同校創立記念日の十七日、母校を訪れ、図書券（三十万円分）と、改築後の新校舎正面玄関に掲げる校章取り付け一式（四十万円）の目録を贈った。

図書券の寄贈は、「後輩らの教育に役立てて」と、毎年の創立記念日に、卒業後三十年たつ同窓生が〝母校愛リレー〟を続けているもの。また、同校は本年度から老朽化に伴う本館棟など旧校舎の全面改築が始まるが、新本館棟完成のあかつきには、新時代に向かう同校にふさわしいプレゼントをーと、校章の贈呈約束となった。

同日の開校式典には第八回卒業生で、現在法務省入国管理局総括管理補佐官の山崎哲夫氏による、「国際交流と国際誤解」と題した記念講演終了後に、校長室で贈呈式が行われた。

三一会幹事十人を代表して、沢田代表が安江昭祐校長に目録を手渡した。安江校長は「有意義に使わせていただきます」と感謝していた。

〝母校愛リレー〟の続く県陵

■卒業30周年懇親会　昭和61年８月11日　松本東急イン

松本県ヶ丘高校卒業30周年記念　於 松本東急イン　－S61.8.11－

開催当日に「校章の」費用を贈呈し、

後日完成した正面入口の校章

県陵三一会　古稀の会（卒業51周年）平成19年８月11日　浅間「いずみ荘」

「古稀を迎える」縣陵東京三一会・新年会

於・東京ガス四谷クラブ　平成19年１月23日（火）

昭和61年４月18日　信濃毎日新聞

新校舎に飾る校章の費用プレゼント

県ケ丘高第８回卒業生

松本市の松本県ケ丘高校（安江昭祐校長、千九十八人）で十七日、六十四回目の開校記念式典が行われ、卒業三十周年を迎える第八回卒業生が図書券三十万円と、新校舎に飾る校章の資金の一部を贈った＝写真。

同校では開校記念日に、卒業三十周年に当たる卒業生が記念品を贈り、その回生の中から講師を選んで講演会を開くのが恒例となっている。

今年は第八回卒業の三一会（沢田吉雄会長、三百五十八人）の番で、図書券と六十三年度に完成する新校舎の玄関用の一部（約四十万円）を贈った。校章は、来年以降の九回、十回卒業生と一共同出資」になるという。

講演会では山崎哲夫法務省入国管理局総括管理補佐官が「国際交流と国際誤解」と題して講演。同氏は「国際化時代に入って異なる民族、文化に対する寛容な認識と配慮が必要」と強調した。

昭和61年４月18日　中日新聞

母校へ図書など贈る

県ケ丘高　同窓生恒例のリレー

母校の図書充実などに役立て（略）万円相当を贈った。

同校では、新開高校移行後（略）の一回卒業生が、卒業三十年を記念し昭和五十四年に図書券などを贈って以来、毎年、卒業後三十年を迎え同校開校記念日の十七日、図書券や校章設置資金など約七十（略）窓生が「母校愛のリレー」と（略）

母校愛のリレーで卒業30年を記念し

図書券など贈る三一会＝県ケ丘高で

昭和61年４月18日　中日新聞

昭和61年４月17日、県陵におきまして卒業30周年記念事業を我々三一会により実施しました。これからも微力ながら母校の発展に協力したいと思います。